

# はまぼうふう vol.15 2005.5.9.

## 石狩浜海浜植物保護センター通信

今年は、平成12年の開館以来、最も春の遅い年です。

5月4日、ようやくイソスミレの花の第1号が咲きました。いよいよ花たちの季節の始まりです。

春の寒風に負けず、河口まで行くと、今年もまた地形が変わったなあ、と驚きです。砂浜がだいぶ沖までのびた感じです。

一方で、冬の大波時に削られたのでしょう。植物の茂る砂丘が削られ、その断面からは、50cm以上も伸びたハマボウフウの根！



イソスミレよりも早く咲くチャシバスケの花。フサフサした部分は雄花。その下に雌花をつけています。



砂丘の断面に出た、ハマボウフウの根。

本州ではこれを「ハマゴボウ」と呼ぶ地域もあるようですが、納得です。この太い根で砂地深くから水を吸いあげているのですね。

ハマニンニク、コウボウムギの根もよく観察でき、波が削った砂丘断面は、海浜植物の特徴を学ぶ天然の教材です。

### 海浜植物観察マップ

#### 石狩樽川海岸線（海岸道路）沿い

- 5月：ハマハダオ 6月：ハマントウ・ハマナス・イソスミレ
- 7月：ノギリソウ・イソカラマツバ・イソカラナゲシ・コウゾリナ・ハマヒルガオ
- 8月：ススキ・ナミキソウ・ヒロハクサヅ・ナギタンポポ
- 9月：ヒロハクサヅ・コガネク・ハマナス
- 10月：アケミ実・ツクメト実

#### はまなすの丘砂丘部(灯台周辺)

- 5月：イソスミレ・ハマハダオ・コウボウムギ
- 6月：アケミ・ハマントウ・ハマナス・ハマヒルガオ
- 7月：ハマヒルガオ・ハマボウフウ・イソカラマツバ
- 8～9月：ハマナス実・ウンラン・メトヒキ
- 10月：アケミ実



#### 志美北三線沿い(中央バス三線バス停から海方向へ)

- 5～6月：ヒメスズメ・イキキソウ・ホトタチ
- 7～8月：ハマリトラノオ・アマユク・クサヅ
- 8～9月：ナギタンポポ・クサヅ実
- 9～10月：アケミ実・アケミ実・カラマツ実・アスナギ実

#### はまなすの丘湿地部とその周辺(あずまや周辺)

- 6月：キョウボウ・イソスミレ・イソルリソウ
- 7月：ハマシヨウボウ・ナギタンポポ・ウンラン・イソカラナゲシ
- 8月：クサヅマ・オグルマ・ナギタンポポ・シロクモコウ・イソミソバ
- 9月：コガネク・イソタンポポ

さきゅうせいたいけい  
砂丘生態系の観察～草原の小動物～

12号より、海-砂浜-砂丘が互いにつながりあって成り立っているという、砂浜海岸の自然のしくみに目を向けています。今回は、砂丘の小動物に目を向け、石狩砂丘の生態系が健全かどうかを考えてみましょう。

石狩砂丘の捕食者たち

春先、まだ草原に葉が茂る前の砂丘では、エゾヤチネズミ、トガリネズミ、ニホントカゲなどの小動物を見つけることができます。

エゾヤチネズミは、昆虫類や、海岸草原の草木の実、冬にはアキグミの樹皮などを食べています。春先、巣穴の入り口に積もった糞を見つけることができます。トガリネズミやニホントカゲは、おもに昆虫類を食べてくらしています。

ヒバリやノビタキなどの小鳥たちも、草原の昆虫を捕まえて食べています。

夏場、雨の空気とともに鳴き出すアマガエルも、草原の小さな虫たちを食べています。

砂丘を駆けて行くキタキツネ、トビ、ハヤブサなどは、小鳥や小動物を食べる、食物連鎖の最上位者です。キタキツネは、秋には木の実も食べていますが、エゾヤチネズミなどの小動物を探して砂丘を行き来しています。時に見かけるミンクも、小動物を捕らえます。

食物連鎖の各段階の生き物たちが見られる石狩浜の砂丘生態系は、健全であると言えるでしょう。

私たちの行為が、食物連鎖の鎖を断ち切ることはないよう、生き物たちへの思いやりをいつも持って、海辺での一時を過ごしましょう。

(おわり)



日光浴するトカゲ(ニホントカゲ)



エゾヤチネズミに食べられたアキグミの樹皮



トガリネズミの死がい



ノビタキ



アマガエル



アオダイショウ



トビ



キタキツネ

海浜植物保護センターの利用について

海浜植物や石狩浜の自然について学習を深めていただくために、ガイドによる説明や、苗移植体験を行っています。希望の方は、一週間前までにセンターへ直接お申込下さい。ただし、団体利用の方に限らせていただきます。費用は無料です。

申込方法：右の事項を電話・ファックス・Eメールのいずれかでお知らせ下さい。

希望の内容(施設内解説・野外ガイド・苗移植・その他)  
希望日時、人数、代表者氏名・電話・住所、団体名

## 冬の落し物



センター敷地の雪の中から出てきたハシブトウミガラス

4月、海浜植物保護センターの建物周囲の除雪をしていると、鳥の死がいが出てきました。

体長50cmほどでお腹が白いこの鳥は、調べてみると、「ハシブトウミガラス」のようです。

これは、冬に沖合いに飛来する海鳥です。お腹から骨が見えており、打ち上げられたものがキツネなどに食べられ、ここへ運ばれたのでしょうか。

沖合いに来る鳥は、なかなか目にする事ができないので、冬の落し物に、思わぬ発見をさせていただきました。

## 活動報告

### 企画展「石狩浜、自然再発見～海浜植物保護センター5年間の活動から」

3月1日～3月27日まで、石狩市民図書館、石狩市花川北コミュニティセンター、北海道環境センターで、パネル展示を行いました。

昨年、石狩浜で開花調査に取り組んだ石狩浜夢の木プロジェクト外も、その成果をまとめて「<sup>はなごよみ</sup>花暦」作成、展示しました。

見ていただいた方々から、今後のセンターの活動への要望、意見として、次のようなものを複数いただきました。

1. もっと植生の保護回復に力を入れるべき
  2. 浜の自然を案内するガイドの養成
  3. 自然のことを学べる場としてもっと力を入れるべき
- 今後の活動で積極的に取り組んでいきたいと思えます。

### 自然観察会

#### 積雪期の海岸林ウォッチング

3月12日(土) 参加者：12名

例年この時期であれば、雪がしまつて、長靴でも歩けるのですが、今年はまだ雪が深く、スノーシューを使つての観察会となりました。

夏場はササが覆つて入ることが難しいか沓林ですが、雪の上を歩けば、樹木の様子がよく観察できました。

#### 早春の石狩浜ウォッチング

4月29日 参加者11名

寒い風が吹く中での観察会&ゴミ拾いとなりました。

イソスミレとハマハタザオのつぼみがなんとか確認できました。ハマボウフウやハマエンドウの芽も出てきていましたよ。

### 動植物定期観察

#### 第1回 4月20日

ボランティアさんが集まり、月2回、植物の開花の状況や観察される野鳥を記録します。(募集については、後ページ参照)

第一回の4月20日は、8名の方が集まり、強風と寒さの中、はまなすの丘を中央部の湿地までと、マクンベツ湿原のミズバショウの状況を観察、記録しました。

海浜植物はまだ芽吹いていませんでしたが、帰化植物のカモガヤ、ムラサキツメクサ、タンポポモドキ、ハコオビコなどの葉は、すでに青々としていました。

マクンベツ湿原に面した石狩川では、渡りの途中のカモの群れが観察され、オナガガモ、ホシハジロ、ハシビロガモ、マガモ、ヒドリガモを確認しました。

#### 第2回 5月4日

6名のボランティアさんが集まり、河口を一周しました。イソスミレの花がようやく咲き始めです。チャンバスゲ、スズメノヤリといった地味な花たちも開花。ハマハタザオのつぼみも上がってきていました。野鳥は、ヒバリ、ノビタキ、カワラヒワを多数観察。冬鳥のシロカモメもまだいました。

2005.5.9

活動予定

自然観察会

5月21日(土) 10:00~12:30

今年の春は遅いので、イソスミレの花も見ごろでしょう。春のはまなすの丘散策です。

集合：10時はまなすの丘グイターセンター

定員：なし(申込みは2日前まで)

6月11日(土) 9:30~13:00

ハマナス、ハマエンドウが咲き、石狩浜が一番彩られる季節。河口まで歩きます。

集合：バス利用の方;9:30 石狩市役所

自車の方;10時はまなすの丘グイターセンター

定員：バス利用の方40名(先着順)

自車の方は定員なし

7月9日(土) 9:00~14:30

カシワ林~海岸草原~石狩川河口をめぐる。ヤマドリトノオ(カシワ林)・エゾカワラナデシコ(海岸草原)・ハマボウフウ(河口)などが見ごろです。

昼食持参です。

集合：9:00 石狩市役所または9:30 中央バス「三線」バス停前

定員：30名(先着順)

8月20日(土) 10:00~12:30

初秋の石狩川河口を歩き、ガボノソウモロコヤカギキョウなど湿地の花や、実り始めた海浜植物を観察します。

集合：10時はまなすの丘グイターセンター

定員：なし(申込みは2日前まで)

共通して

対象：子ども~大人 参加費100円(保険料として)

持ち物：筆記用具・帽子・飲み物・防寒着・雨具

お持ちの方は双眼鏡・(7/9は昼食)

小雨決行・悪天時中止

.....  
行事・講座への参加申込・お問合せ、通信・刊行物に関するご意見、お問合せ等は、下記まで。

開館期間(4/29~11/3)：〒061-3372 石狩市弁天町48-1 tel.0133(60)6107 fax.0133(60)6146

開館時間9時~17時 休館日：火曜日(祝日の場合その翌日)

冬期閉館期間(11/4~4/28)：〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30-2 石狩市役所内 tel.0133(72)3240

email. [ihama@city.ishikari.hokkaido.jp](mailto:ihama@city.ishikari.hokkaido.jp)

HP：http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/index.htm

こども自然教室

6月25日(土) 9時~15時30分

クイズやゲームで海浜植物や砂丘の生き物について学びながら、石狩川の河口を楽しく歩きます。昼食持参です。

集合：バス利用の方;9:00 石狩市役所

自車の方;9:30 はまなすの丘グイターセンター

対象：小学生(低学年は保護者同伴)

定員：30名(申込み多数の場合抽選)

申込み締切：6月16日

参加費：100円(保険料として)

持ち物：昼食・筆記用具・帽子・飲み物・防寒着・雨具

企画展「エゾアカヤマアリの生態を学ぶ」

8月6日(土) 時間未定

世界有数の大きさのエゾアカヤマアリの大営巣地と知られる石狩浜。その生態などについて、北海道大学の東正剛先生をお招きし、野外で観察をしながら学習します。

対象：子ども~大人 定員：30名

詳細は、後日HPなどでご確認ください。

ボランティアさん募集

A~Cの項目で活動していただけるボランティアさんを募集しています。

A 動植物定期観察(毎月第1・3水曜予定)

決まったルート歩いて、植物の開花状況や観察される野鳥など、生き物情報を記録します。

B 希少植物調査(日程は後日決定)

石狩浜とその周辺に生育する希少植物の株数や開花状況を計測、記録します。

C 子ども自然教室サポート

主に指導員のサポートです。子どもたちの安全に目を配りながら一緒に楽しんで参加していただきます。(自然教室開催日は、6/25と10/1)

活動を希望する方、興味のある方は、詳細をお問合せください。(交通費は各自でご負担いただいています。)